

事業概要書

	<table> <tr> <td>事業名</td><td>みんなで育て みんなでつくる 沿道の食べられる景観事業</td></tr> <tr> <td>団体名</td><td>エディブルウェイプロジェクトチーム</td></tr> <tr> <td>事業担当課</td><td>みどりと花の課</td></tr> </table>	事業名	みんなで育て みんなでつくる 沿道の食べられる景観事業	団体名	エディブルウェイプロジェクトチーム	事業担当課	みどりと花の課
事業名	みんなで育て みんなでつくる 沿道の食べられる景観事業						
団体名	エディブルウェイプロジェクトチーム						
事業担当課	みどりと花の課						
事業概要							
沿道の住宅や店舗前、地域の拠点、街中のプランターなどで、野菜やハーブなどを育てる「食べられる景観」づくりや、植物クラフト活動を実施する。生活に身近な場所での園芸活動を通じ、住民の交流を促進し、地域コミュニティ向上、地域環境を学び合う場を創出する。							
取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	社会課題：核家族化、単身世帯の増加などから、近所づきあいなど地域での交流の機会が減少しています。松戸市でも、高齢者の単身世帯が増加しており、地域でのゆるやかなつながりづくりが課題と考えています。 松戸市のテーマ：令和４年に「松戸しみどりの基本計画」が策定され、「みどりと暮らす豊かさを実感できるまちづくり」がテーマに掲げられています。松戸市では里山ボランティアなどの市民活動は盛んですが、生活の中で、みどりをを感じる場面は少ないことが課題と考えられます。本事業では、沿道での景観づくりやクラフトなど園芸活動を通じ、健康・福祉、景観、教育・子育て、食料生産など、みどりの機能を、生活に身近な場所で、住民の方と一緒に高め、推進することができると考えます。また、みどりの活動を通じて、地域でのゆるやかなつながりづくりにも貢献できると考えています。						
事業の目的	- 野菜やハーブを用いたユニークな景観づくりを行い、みどりの市民力向上や、みどりのあるライフスタイルの推進に寄与すること。 - 園芸活動を通じた地域でのコミュニケーション機会の創出から、日常的に挨拶できる近所づきあいを増やすこと。 - 園芸活動や植物を使ったものづくりを通じ、地域環境を学び合う機会や、多世代での交流の機会をつくること。						
事業内容	(1) 食べられる景観づくり（通年、植え替え：５月・１０月） - 野菜やハーブなど食べられる植物と、花苗の寄せ植えにより、食べられる景観づくりをする。園芸活動を通じた、多世代のコミュニケーションを誘発し、地域の顔の見えるつながりづくりに貢献する。 - 植え替え時期に、外部講師を招き、リレー栽培講座を開き、見た目も美しく、持続可能な野菜の育て方を学ぶ。（年２回） - 有志で育苗活動を実施し、タネ・苗の配布交換会を開催。（年２回） - プランターに設置しているサインの作成・修理会を開催する。（年１回） ① 沿道での食べられる景観づくり - 松戸三丁目東自治会を中心とした地域で、沿道の個人宅、事業所前の私有地側の空間にお揃いのプランターを設置し、野菜やハーブを育てる。 - 同地域の地域拠点施設（地域包括支援ケアセンター、小規模保育所などを想定）でも、食べられる景観を展開し、みどりのつながりを広げる。 ② まちのプランターでの食べられる景観づくり - みどりと花の課が管理するプランターで、食べられる景観を展開し、地域のみどりのつながりを広げる。						

	・ 普段の水やりなどの管理は、参加者で連携して行う。 ・ 月 1 回まちのプランターお世話会を開催する。植物の世話と合わせて、ハーブクラフト体験、試食会、関連絵本の読み聞かせなどを行う。野菜やハーブの使い方を学び、栽培活動への意欲向上と交流を進める。 ③ 市内他地域の地域拠点での食べられる景観づくりの継続支援 ・ 2025 年度に「みどりの愛護のつどい」の機運醸成を目的とした事業で設置した市内他地域の施設前の食べられる景観づくりの継続支援を行う。 (2) 子ども向けクラフトワークショップの開催（年 3 回） ・ 外部講師を招き、子ども向けに植物クラフトワークショップを開催し、ものづくりを通じた身近な地域環境の学びと交流の場を設ける。（2 回） ・ みどりと花のフェスティバルに出展し、クラフトワークショップを実施し、クラフト体験の機会の提供と、市内他地域への情報発信を行う。 (3) ハーブクラフト講座の開催（年 2 回） ・ 外部講師を招き、ハーブを活用した講座を行い、ハーブの使い方、楽しみ方を学ぶことで、栽培活動への意欲向上と交流を進める。 (4) 情報発信：活動の普及・啓発のために、SNS、Web サイトでの情報発信。 (5) 活動レポートブックの発行：協働事業の取り組みをまとめてレポートを発行し、他地域展開の支援に役立てる。
協働の必要性	松戸市のみどりを担う課との協働事業として行うことで、地域の拠点施設などでも展開が実現できれば、地域のみどりや、人のつながりはさらに強化できると考えられます。令和 6 年度からはじまった協働事業のまちのプランター活動では、地域包括支援センターや子ども会、地域住民の参加がありました。地域活動として、街中のプランターで食べられる景観づくりができることになり、多世代が参加し、楽しんでいただけております。子どもにとっては、園芸体験から、環境教育や、地域環境を学ぶ場として、高齢の方にとっては、外出や、体を動かすきっかけになり、地域のさまざまな世代と交流する機会になっています。つながりが希薄化した地域社会で、いざというときに助け合えるゆるいつながりづくりに貢献できると期待しています。 令和 7 年度に、「みどりの愛護のつどい」の機運醸成を目的とした、みどりと花の課の事業として、市内の拠点施設前にプロジェクトのプランターを設置し、食べられる景観づくりを開始しました。これら他地域の活動継続を支援します。 当団体の活動は、松戸市のみどりの基本計画に掲げられた「みどりと暮らす豊かさを実感できるまちづくり」の手法の一つとして、松戸市のみどりの市民力の向上に貢献できます。松戸市のみどりを担う課との協働事業として行うことで、みどりの基本計画の基本方針に貢献できると考えております。
事業の目標	・ 食べられる景観づくりについては、沿道の新規参加者（5 世帯）、地域の拠点施設への展開（1 カ所以上）を目指す。 ・ タネ取り、育苗活動を実施し、植え替え時期に、なるべくタネ・苗は交換会として開催できることを目標とする。 ・ まちのプランターでは、月 1 回の活動を実施し、多世代にわたる 15 名程度の参加者を目指す。植物の管理活動と植物を使うミニワークショップを開催し、活動を継続するためのモチベーション維持と知識の共有を図る。 ・ ワークショップ、講座には、毎回 20 名程度で、半数は、市内他地域からの参加者となるように、市内他地域へも活動が認知されるよう努める。

事業の予算概要

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額（Ａ）	¥ 1,283,668	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	イベント（WS・講座）参加費	¥ 135,000	(1)リレー栽培講座500円*20人*2回、収穫試食会 200円*15人*2回 (2)クラフトWS 1000円*20人*2回、みどりと花のフェスティバルWS 300円*30人、(3)ハーブクラフト講座 1500円*20人*2回
	団体拠出金	¥ 6,280	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額（Ｂ）	¥ 141,280	
市	協働事業負担金（Ｃ）	¥ 500,000	
合計額（Ｄ）＝（Ｂ＋Ｃ）		¥ 641,280	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 240,000	講座外部講師謝礼金（30,000円*6回）、レポートブック用まちのプランター活動・ワークショップ撮影謝礼（5,000円*12回）
	消耗品費	¥ 188,500	[食べられる景観づくり] ・土再生材 10kg(6000円*1個) ・ミミズ堆肥 5kg（1000円*6個） ・元肥（600円*5個） ・培養土40L（1400円*10個） ・野菜苗（育苗が困難な種類・沿道プランター25個*2期、まちのプランター25個*2期）（300円*100個） ・果樹苗(5000円*1個) ・まちのプランター資材一式（支柱、ネームタグ、紐など）5000円 ・タネ(300円*20個) ・育苗用資材一式（育苗ケース・ポット・用土など）(5000円*2回) ・サイン修理・材料一式 3000円 ・ラミネートシート 3500円 ・布製プランター(500円*20個) ・プランターロゴ印刷シルクスクリーン版(3000円*2個) ・シルクスクリーンインク(3000円*2個) ・試食会材料（5000円*2回） [クラフト] ・クラフト材料費（クラフト素材、道具類）(5000円*3回) ・ハーブクラフト材料費（花材等素材、道具類）(10000円*2回) [活動全般] ・参考書籍（クラフト・園芸福祉活動等）(2000円*5冊) ・まちづくり絵本(2000円*5冊) ・文具類一式（付箋、封筒、コピー用紙等）5000円 ・園芸道具類一式（養生シート、移植ゴテなど）5000円
	食糧費	¥ 14,400	・参加者お茶代（まちのプランター活動12回+ワークショップ・講座6回*20人分（1回800円）
	印刷製本費	¥ 92,700	・チラシ印刷費（A4両面カラー15円*100部）*6回 ・資料コピー代（10円*30枚*16） ・活動レポートブック印刷費用（A5カラー32ページ500部*157.8円）
	使用料及び賃賃料	¥ 45,280	・自治会館（講座・育苗会 計16回*1600円） ・チラシ、レポートブックデザイン・編集ソフト利用料（3,280円/月*6ヶ月）
	保険料	¥ 2,000	キッズクラフトワークショップ保険料(1000円*2回)
	通信運搬費	¥ 4,400	切手代（メールなし110円*20世帯*2回）
	対象経費の合計（Ｅ）	¥ 587,280	
（その他）対象経費	食糧費	¥ 18,000	お弁当代（1日通し植え替え/WS 600円*5名*6回）
	交通費	¥ 30,000	資材運搬用交通費（レンタカー）6000円*2回 スタッフ交通費(往復1000円*12回) 講師交通費(往復1000円*6回)
	通信費	¥ 6,000	・ホームページサーバーレンタル年間（4000円） ・ホームページドメイン年間（2000円）
	その他経費の合計額（Ｆ）	¥ 54,000	
合計額（Ｇ）＝（Ｅ＋Ｆ）		¥ 641,280	

【チェック項目】

- 協働事業負担金（Ｃ）が、対象となる経費（Ｅ）欄の90％以内であること。
- 協働事業負担金（Ｃ）が、自己資金（Ｂ）欄に労力換算額（Ａ）欄を加えた額を超えないこと。
- 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

項 目		換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間回数×1076円
	まちのプランター活動日(12回)	271,152 円	7 人 × 3 h × 12 回 × 1076 円
	まちのプランター活動準備(12回)	116,208 円	3 人 × 3 h × 12 回 × 1076 円
	育苗活動(2回)	75,320 円	7 人 × 5 h × 2 回 × 1076 円
	タネ・苗交換会準備(2回)	12,912 円	3 人 × 2 h × 2 回 × 1076 円
	タネ・苗交換会開催(2回)	15,064 円	7 人 × 1 h × 2 回 × 1076 円
	WS・講座準備(6回)	96,840 円	3 人 × 5 h × 6 回 × 1076 円
	WS・講座開催(6回)	129,120 円	5 人 × 4 h × 6 回 × 1076 円
	WS・講座 講師打ち合わせ(6回)	38,736 円	3 人 × 2 h × 6 回 × 1076 円
	スタッフ打ち合わせ(12回)	77,472 円	3 人 × 2 h × 12 回 × 1076 円
	情報発信SNS・WEB・LINEオープンチャット等記事作成・配信(12回)	25,824 円	2 人 × 1 h × 12 回 × 1076 円
	クラフトサイン作成・修理(1回)	37,660 円	7 人 × 5 h × 1 回 × 1076 円
	緑と花のフェスティバル準備	26,900 円	5 人 × 5 h × 1 回 × 1076 円
	緑と花のフェスティバルワークショップ	37,660 円	5 人 × 7 h × 1 回 × 1076 円
	チラシ作成(16回)	51,648 円	1 人 × 3 h × 16 回 × 1076 円
	チラシ配布、掲示、ポスティングなど発信作業(16回)	51,648 円	1 人 × 3 h × 16 回 × 1076 円
	地域拠点植え付け活動(2回)	8,608 円	2 人 × 2 h × 2 回 × 1076 円
	活動レポート作成	193,680 円	3 人 × 3 h × 20 回 × 1076 円
	視察対応(4回)	17,216 円	2 人 × 2 h × 4 回 × 1076 円
合 計 (A)		1,283,668 円	

事業の実施体制

事業従事者数	7 人
--------	-----

従事者	事業における主な役割
A	事業統括、事業企画、行政との連携窓口
B	事業企画、イベント等の募集・周知、町会・子供会との連携窓口
C	事業企画、ワークショップ 準備および運営、地域拠点との連携窓口
D	まちのプランター活動・ワークショップ・イベント 準備および運営
E	まちのプランター活動・ワークショップ・イベント 準備および運営
F	まちのプランター活動・育苗活動 準備および運営、子供会との連携窓口
G	まちのプランター活動 準備および運営